SONY

3-300-111-**02**(1)

TV(1–3ch) • FM /AM ラジオ

取扱説明書 • 保証書

お買い上げいただきありがとうございます

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICF-B01

* 3 3 0 0 1 1 1 0 2 * (1)

品 名 ラジオ

型 名 ICF-B01

保証書 T10-1001A-4

この位置に保証書フィルムを正しく合成して、フィルムを完成させること

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保證書完成菲林。

在此位置插入保证书以完成胶片。

主な特長

- 災害時、緊急時に役立つ非常用ラジオ
- ハンドルを回して内蔵の充電式電池に充電して使えます。
  – 自家発電機能
- 単4形乾電池（別売り）でも使用することができます。
- 緊急時に携帯電話機への充電もできます。
- 便利な2種類のLEDライト（ソフトライト/スポットライト）機能搭載
- 多少の雨や雪、水しぶきのかかるところでも使える防滴機構*
- 非常事態を周囲に知らせるホイッスル付属
- 収納に便利なポーチ付属

* このラジオの防滴の種類は防滴 II 形（JIS 日本工業規格）です。多少の雨や雪、水しぶき程度でしたら支障なく使用できますが、水の中につけたり、湿気の多い風呂場などに長時間放置すると故障の原因となることがあります。

主な仕様

受信周波数	FM：76～108 MHz（TV1～3チャンネル）*1 AM：530～1,605 kHz
スピーカー	直径3.6 cm 丸形8 Ω 1個
出力端子	ⓘ（イヤホン）端子（ø 3.5 mm ミニジャック）1個 携帯充電端子 1個
実用最大出力	60 mW（JEITA*2、内蔵の充電式電池でご使用の場合） 90 mW（JEITA*2、別売りの単4形乾電池でご使用の場合）
電源	DC3V、単4形乾電池、2本 または内蔵のニッケル水素電池
最大外形寸法	約130×77×52 mm（幅×高さ×奥行き）（JEITA*2）
質量	本体：約285 g 乾電池使用時：約297 g（単4形乾電池含む）

＊1 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。
＊2 JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

付属品

キャリングポーチ（1）、プラグ付コード（1）、充電プラグアダプター（3）、ホイッスル（1）、ハンドストラップ（1）、取扱説明書・保証書（1）、対応機種一覧表（1）、ソニーご相談窓口のご案内（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なしに変更することがありますが、ご了承ください。

本取説に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

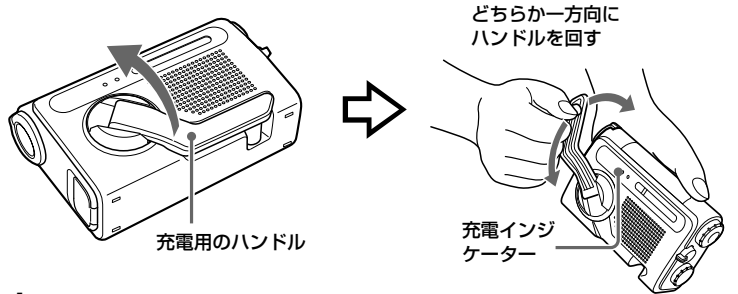
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

電源について

充電式電池で使うには

本体に内蔵の充電式電池に充電をして、ラジオを聞くことができます。

1 充電用のハンドルを引き出す。

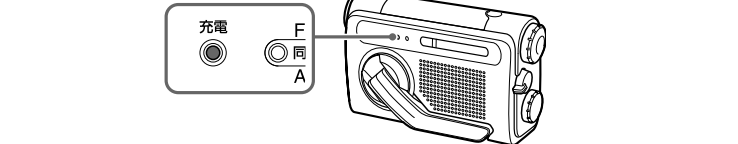
2 どちらか一方向にハンドルを回して充電する。
始めはゆっくり回します。その後、徐々に速く回し、充電インジケーターが緑色に点灯する速さで回し続けてください。
ハンドルを回して充電すると、電源切換スイッチの位置にかかわらず内蔵の充電式電池に充電されます。

ご注意

- ハンドルを回すときはロッドアンテナを収納してください。ロッドアンテナを立てておくと、顔などに当たる場合があり危険です。
- ラジオ受信中にハンドルを回すと放送に雑音が入ることがあります。この場合はラジオの電源を切ってから充電してください。

充電について

ハンドルを回すと発電が始まり、内蔵の充電式電池が充電されます。ハンドルを回す速さにより発電量は異なります。
始めはゆっくりと回し、徐々に速く回していくと充電インジケーターが点灯します。充電インジケーターが緑色に点灯した状態で約1分間、ハンドルを回すと、約60分*ラジオを聞くことができますので、ハンドルを回す速さの目安としてお使いください。
点灯しない状態で回しても発電しますので、充電式電池に充電することができ、ラジオを聞くことはできます。**充電インジケーターは充電量を示すものではありません。**

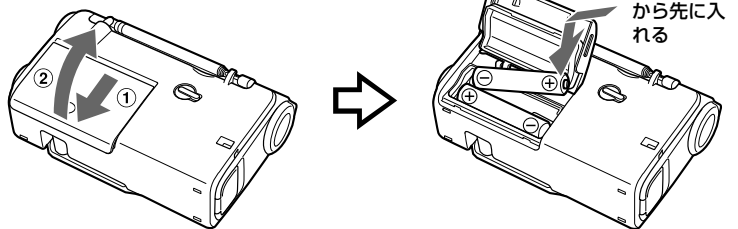
* 当社基準による測定値です。（使用条件によっては持続時間が短くなる場合があります。）

充電式電池が消耗してくると

音が小さくなったりひずんだりします。そのときはハンドルを回して充電してください。

ご注意

- 初めて使うときや、長時間使用しなかったあと、電源を入れた状態で放置したとき、また、充電式電池が消耗したときは、充電しても持続時間が短くなる場合があります。この場合は、充電（1分以上）、放電を繰り返すと通常の状態に戻ります。
- 充電してもラジオの使用時間が極端に短くなってきたら、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

乾電池で使うには

別売りの単4形乾電池2個を使います。

1 乾電池ぶたを開ける。

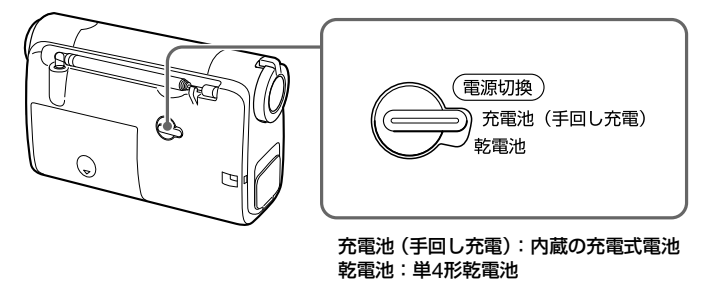
2 同じ種類の乾電池を、⊕と⊖の向きを正しく入れる。

乾電池の交換時期

乾電池が消耗してくると、音が小さくなったりひずんだりします。そのときは2本とも新しい乾電池に交換してください。

使う電源を選ぶ

電源切換スイッチを使う電源に合わせてください。

充電池（手回し充電）：内蔵の充電式電池
乾電池：単4形乾電池

電池を確認してください

1年に1度、防災の日などに充電式電池、乾電池の確認をしてください。

充電式電池： 数回ハンドルを回して充電し、ラジオが聞けることを確認します。

乾電池： ラジオの電源を入れて、音が小さくなったりひずんだりしていないか、確認します。

充電式電池の持続時間

	FM (TV1-3ch)	AM	ライト
手回し充電を1分間回した場合*1	約40分 *2	約60分 *2	約15分

＊1: 充電インジケーターが緑色に点灯した状態でハンドルを回した場合（参考値：約120回転/分）
＊2: 出力約1 mW時

乾電池の持続時間

	FM (TV1-3ch)	AM	ライト
ソニー単4形 (LR03) アルカリ乾電池	約40時間 (JEITA)*3	約50時間 (JEITA)*3	約30時間

＊3: JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。
実際の電池持続時間は使用する機器の状況により変動する可能性があります。

電池入れのふたがはずれたときは

1 電池ぶた左側のツメを、本体のみぞに差し込む 。

2 電池ぶた右側のツメを、本体のみぞに向けて滑らすようにはめ込む。

3 内側に付いている電池ぶたサブを電池ぶたにはめ込み１枚のふたにする。
電池ぶたサブは、本体と密着するように作られています。電池ぶたサブを持ち上げるときは、本体を電池ぶたサブが離れるまで傾けてください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口	フリーダイヤル……………0120-333-020	携帯電話・PHS・一部のIP電話・0466-31-2511
修理相談窓口	フリーダイヤル……………0120-222-330	携帯電話・PHS・一部のIP電話・0466-31-2531

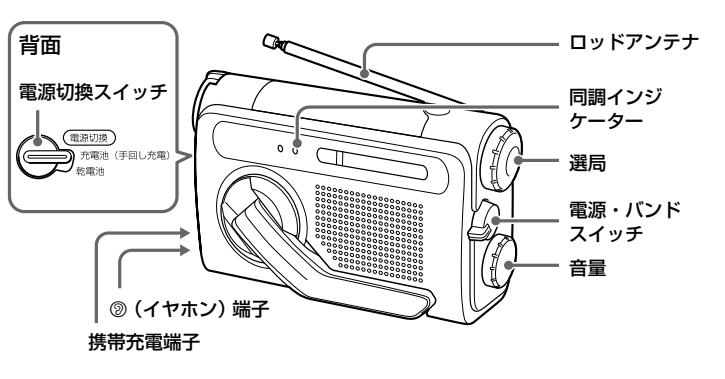
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「304」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）
0120-333-389
受付時間
月～金：9:00～20:00
土・日・祝日：9:00～17:00

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

ラジオを聞く

スピーカーまたは別売りのイヤホンで聞くことができます。

1 **電源切換スイッチを充電池（手回し充電）または乾電池に合わせ、使う電源を選ぶ。**

2 **電源・バンドスイッチでFMまたはAMを選ぶ。**
TV（1-3ch）放送を聞く場合はFMに合わせます。

3 **選局つまみを回して聞きたい放送局の周波数を選ぶ。**
放送を受信すると同調インジケーターが赤く点灯します。

4 **音量つまみを回して音量を調節する。**

電源を切るには

電源・バンドスイッチを「ラジオ 切（携帯充電）」にします。

受信状態を良くするには

FM（TV1-3ch）放送の場合

ロッドアンテナの長さと角度を調節してください。
- ロッドアンテナの角度を調整するときは、付け根の部分を持ってください。
  先端部分を持ったり過剰な力を加えると、アンテナを破損することがあります。

AM放送の場合

AMアンテナは内蔵されているので、ラジオ本体の向きによって受信状態が変わります。最も良く受信できる向きにしてお聞きください。
- 乗り物やビルの中では電波が弱められますので、なるべく窓際でお聞きください。

> **テレビ放送の受信についてのご注意**
> 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

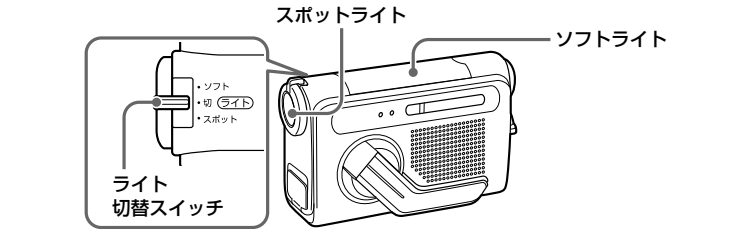
別売のイヤホンで聞くときは

イヤホンを◎（イヤホン）端子につなぎます。
イヤホンをつなぐとスピーカーから音は出なくなります。

ご注意
- ◎（イヤホン）端子にイヤホンを差し込んでいないときは、必ず端子ぶたを閉めておいてください。閉めないと、防滴効果がなくなります。
- イヤホンをご使用のときは水がかからないようにご注意ください。

便利な機能を使う

■ LEDライトを使うには

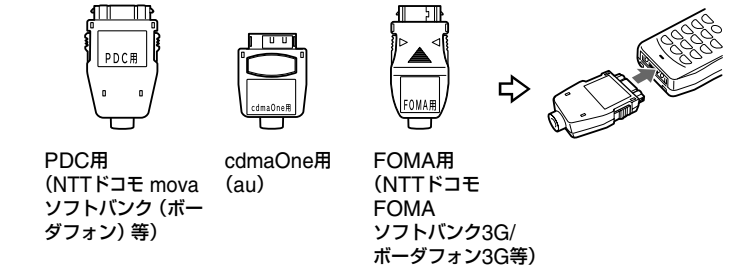
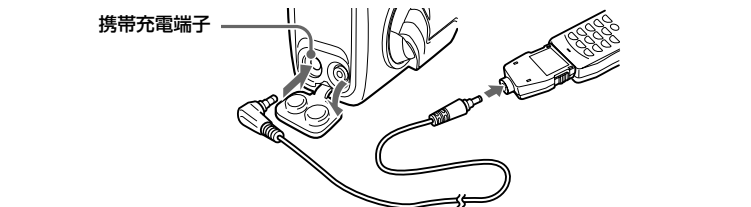
ライト切換スイッチでソフトまたはスポットを選びます。
ソフト：上部のライトが点灯します
スポット：側面のライトが点灯します
ライトを消す場合は、ライト切換スイッチを「切」にします。

ご注意
ライト点灯時に、電池切換スイッチを切り換えたり電池を交換すると、ライトが消灯します。再度、ライトを点灯させるには、ライト切換スイッチを一度「切」にしてから、ソフトライトまたはスポットライトを選んでください。

■ 携帯電話を充電するには

NTTドコモ、au、ソフトバンク（ボーダフォン）等の携帯電話を充電できます。
機種によっては適合しないものもあります。詳しくは、添付の「対応機種一覧表」を参照してください。PHSには使用できません。

1 **お手持ちの携帯電話の電源をOFFにする。**

2 **付属の充電プラグアダプター（3種類）から、ご使用の携帯電話にあうタイプを接続する。**
携帯電話の機種によっては端子形状の異なるものがあり、その場合は使用できません。

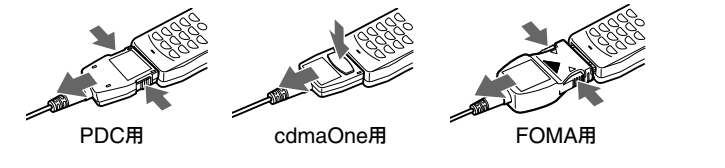
PDC用（NTTドコモ mova ソフトバンク（ボーダフォン）等）
cdmaOne用（au）
FOMA用（NTTドコモ FOMA ソフトバンク3G/ボーダフォン3G等）

3 **本機の携帯充電端子と携帯電話に接続した充電プラグアダプターを、付属のプラグ付コードで接続する。**

4 **電源・バンドスイッチを「ラジオ 切（携帯充電）」にあわせる。**

5 **電源を選ぶ。**
電源切換スイッチを充電池（手回し充電）または乾電池にあわせます。
充電池（手回し充電）：ハンドルを回すと発電が始まり、携帯電話に充電されます。
乾電池：乾電池から携帯電話に充電されます。

携帯電話の持続時間 ＊1

	連続待ち受け	連続通話
手回し充電を1分間回した場合＊2	約90分	約3分
乾電池から約1時間充電した場合 ソニー単4形(LR03)アルカリ乾電池	約10時間	約20分

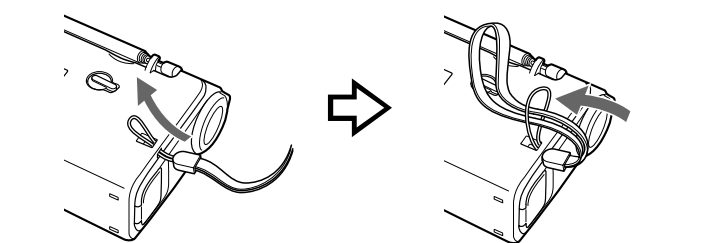
＊1: 携帯電話の持続時間は携帯電話によって異なります。値は代表的な機種の測定に基づいた目安です。
＊2: 約120回転/分でハンドルを回した場合

ご注意
- 乾電池から携帯電話に充電するときは、ソニー単4形（LR03）アルカリ乾電池をお使いください。
- 電源切換スイッチが「乾電池」になっている場合は、ハンドルを回しても携帯電話へは充電されません。
- 乾電池から充電しているときに電池を交換すると、充電は停止します。再度、充電を始めるには、電源切換スイッチを一度「充電池（手回し充電）」にしてから、もう一度「乾電池」にあわせてください。
- 本体の充電インジケーターは、内蔵されている充電式電池への充電状況を示すものです。携帯電話の充電状況は、携帯電話のインジケーターを参照してください。
- 完全に放電しきった携帯電話への充電はできません。
- 内蔵の充電式電池からは、携帯電話に充電することはできません。
- 充電プラグアダプターを誤った方向に無理に差し込むと携帯電話やメモリーデータが破損および消失する場合がありますので、よく確かめてから接続してください。
- 電池の劣化を防ぐために充電終了後は携帯電話から充電プラグアダプターをはずしてください。

> 万一、本製品の使用により生じた携帯電話のメモリーデータ消失や通話不能等の損害、および逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

■ ハンドストラップを使うには

付属のハンドストラップを取り付けると持ち運びに便利です。

取り付けかた

本体側面にハンドストラップを取り付けます。

■ ホイッスルを使う

付属のホイッスルは非常事態を周囲に知らせるのに便利です。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  ―温度が非常に高い所（40℃以上）や低い所（0℃以下）。
  ―直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  ―風呂場など湿気の多いところ。
  ―窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。ほこりの多い所。
- 本体内部に液体や異物を入れないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンなどは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがありますのでご注意ください。
- このラジオのテレビ音声受信回路は、FM放送の受信回路と兼用であるため、一部の地域ではテレビの2または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。このときは、ソニーの相談窓口または、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- 耳をあまり刺激しないように、適度の音量でお楽しみください。
- 別売りのイヤホンをお使いになるときは、常によい音でお聞きいただくために、イヤホンのプラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。
- イヤホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師または、ソニーの相談窓口に相談してください。

防水性についてのご注意

このラジオは、多少の雨や雪、水しぶきのかかるところでも使える防滴機構になっていますが、次の点に十分ご注意ください。
- 大量に水をかけないでください。
- 水の中につけないでください。
- 水がかかったり、水中に落ちた場合は、すぐ引きあげて、乾いた布で水分を拭き取ってください。
- スピーカー内に水が入った場合は、本体をさかさまにして水を出してください。

> 万一故障した場合は、内部を開けずに、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

日本国内での充電式電池の廃棄について

Ni-MH

ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
を参照してください。

本機を廃棄するときは

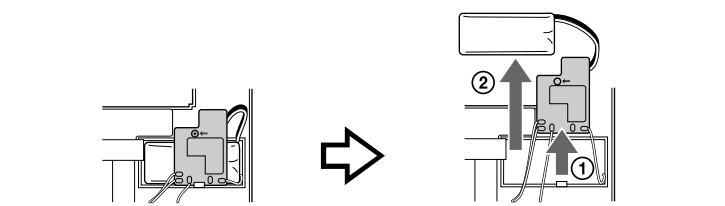
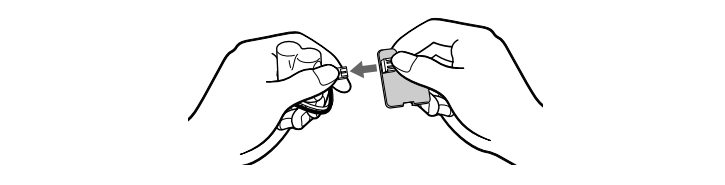
環境保護のため、充電用の電池を取り出してください。

⚠警告 **本機を廃棄するとき以外は絶対にキャビネットを開けないでください。**

1 **本体上部のソフトライトのカバーを取りはずす。**
裏面のアンテナ収納部分に2ヶ所あるねじを取ると、はずすことができます。

2 **左右の側面パネルを取りはずす。**
右側のパネルは3つのつまみを引き抜くようにはずし、音量つまみ部分にあるねじを取ると、はずすことができます。
左側のパネルはイヤホン端子の近くにあるねじを取ると、はずすことができます。

3 **裏面のキャビネットを取りはずす。**
裏面の4ヶ所と電池ボックス内の2ヶ所のねじを取ると、裏のキャビネットをはずすことができます。
アンテナを固定しているねじは、はずす必要はありません。

4 **基板を取りはずす。**
基板の1ヶ所のねじを取ると、基板をはずすことができます。
基板をはずすと充電式電池が取りだせます。

5 **充電式電池をはずす。**
基板のコネクタ部を押さえながら、充電式電池をはずします。

⚠注意
- 電池と基板をつないだままにしておくと電気が流れて危険です。基板のコネクターから必ずはずしてください。はずすときは、まわりの部品の内部に触れないようにご注意ください。
- 充電式電池は完全に消耗した状態を確認してから取りはずしてください。